



## ～ 新年賀詞交歓会は盛況裡に開催された ～



石原信雄会長より  
「本年のより一層のご健勝とご活躍を、心よりお祈り申し上げます。」と、新年のご挨拶がありました。

### 「過去最大の新年賀詞交歓会」

倶楽部の活性化を目指して賀詞交歓会が始まったのは平成 27 年である。今回は 4 年目となる。毎年 100 人を超える会員が集い、和やかな雰囲気の中、談笑の輪が広がり、旧友との交流や新しい友人作りの場が定着してきた。特に今年は過去最多となる 120 名の会員の方々にご参加いただいた。賀詞交歓会は、毎月の午餐会が着席式で儀式的なのに対し、立食・buffet 形式による新しい形での交流の場を提供するという意図で始められた。この着想が功を奏したことにより、その後、立食形式の懇親会・パーティーが、この 3 年間に 4 つラインアップされるまでに成長した。

賀詞交歓会に続いたのは、同じ年の 3 月の懇親会だ。会員の作品展と小唄の発表会に合わせて懇親パーティーが実施された。結果は大成功、作品を出品した方々、小唄を唄った人々に加え、鑑賞に来てくださっ

た方を交え、会場の正面ロビーは満杯の人で大いに盛り上がった。皇居前広場を借景に、大勢の会員と飲食をともにし、談笑できるのは最高の贅沢だろう。盛り上がりの一要因に、この借景も貢献しているかも知れない。

第 3 は、立食パーティーが好評なのを受け、平成 27 年 6 月の会員総会後にも、立食形式の懇親会が実施され、更に平成 29 年 10 月には、第 4 の企画として秋季会員親睦会が、開催されることになった。

今年日本倶楽部は、創設 120 年を迎える。明治 31 年 6 月の発起人総会以来、大正 10 年 4 月の社団法人化、そして平成 25 年の一般社団法人化とこの間組織の変遷はあったが、会の目的は変わっていない。主要目的は 3 点あるが、その中でまず取り上げられているのが、「会員相互の親睦を厚くする」である。上記 4 つの親睦会は、この点から見て大きな役割を果たしていると評価できよう。これが会員増強はじめ、倶楽部活性化のためにつながることを祈念している。(M. I.)

